

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年1月13日

協議会名: 阿賀野市地域公共交通協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
事業者名:阿賀野市 運行系統名:前山線(700)	京和荘～前山～阿賀野市役所	路線別時刻表の作成・配布による啓発活動を行った。市のホームページにも時刻表と路線図を掲載し、周知した。自分の利用状況に合わせたルート・時刻だけを抽出したオリジナル時刻表(マイ時刻表)の作成サービスを実施した。高校新1年生向けに利用促進パンフレットを配布した。75歳以上高齢者の利用料を免除と高齢者運転免許証返納者への支援を継続実施した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	C 目標である1回平均2.0人に対し、1.9人で目標を達成できなかった。通学利用で増加がみられたが、新規利用者を獲得できなかったためと考えられる。	・路線別時刻表及び前山地区の高校新1年生向け市営バス通学促進パンフレットの作成・配布を行う。 ・市の広報紙、ホームページ等で周知を図る。 ・朝の通勤・通学時間帯における鉄道への接続を引き続き確保する。
事業者名:阿賀野市 運行系統名:前山線(702)	京和荘～前山～市野山(ウオロク脇)	路線別時刻表の作成・配布による啓発活動を行った。市のホームページにも時刻表と路線図を掲載し、周知した。自分の利用状況に合わせたルート・時刻だけを抽出したオリジナル時刻表(マイ時刻表)の作成サービスを実施した。75歳以上高齢者の利用料を免除と高齢者運転免許証返納者への支援を継続実施した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A 目標である1回平均5.4人に対し、6.7人で目標を達成した。通院に合わせたダイヤを確保し、通院利用が増加したこと及び常連利用者の買い物等による外出が増えたためと考えられる。	・路線別時刻表の作成・配布を行う。 ・市の広報紙、ホームページ等で周知を図る。 ・マイ時刻表作成サービスの周知や市営バスの利用方法がわからない方のための利用案内を実施する。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
事業者名:阿賀野市 運行系統名:前山線(703)	市野山(ウオロク脇)～前山～ 京和荘	路線別時刻表の作成・配布による啓発活動を行った。市のホームページにも時刻表と路線図を掲載し、周知した。自分の利用状況に合わせたルート・時刻だけを抽出したオリジナル時刻表(マイ時刻表)の作成サービスを実施した。75歳以上高齢者の利用料を免除と高齢者運転免許証返納者への支援を継続実施した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	C 目標である1回平均7.5人に対し、7.1人で目標を達成できなかった。 通院利用と介護施設入所者への訪問利用が減少したためと考えられる。	<ul style="list-style-type: none"> ・路線別時刻表の作成・配布を行う。 ・市の広報紙、ホームページ等で周知を図る。 ・マイ時刻表作成サービスの周知や市営バスの利用方法がわからない方のための利用案内を実施する。
事業者名:阿賀野市 運行系統名:神山線(902)	笹神支所～熊堂、神山駅前～ 阿賀野市役所	路線別時刻表の作成・配布による啓発活動を行った。市のホームページにも時刻表と路線図を掲載し、周知した。自分の利用状況に合わせたルート・時刻だけを抽出したオリジナル時刻表(マイ時刻表)の作成サービスを実施した。75歳以上高齢者の利用料を免除と高齢者運転免許証返納者への支援を継続実施した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	C 目標である1回平均11.8人に対し、11.0人で目標を達成できなかった。 利用者数は横ばいの状況であったが、通院利用者が施設入所等により利用を終了したことなどが考えられる。	<ul style="list-style-type: none"> ・路線別時刻表の作成・配布を行う。 ・市の広報紙、ホームページ等で周知を図る。 ・マイ時刻表作成サービスの周知や市営バスの利用方法がわからない方のための利用案内を実施する。
事業者名:阿賀野市 運行系統名:神山線(903)	阿賀野市役所～神山駅前～笹 神支所	路線別時刻表の作成・配布による啓発活動を行った。市のホームページにも時刻表と路線図を掲載し、周知した。自分の利用状況に合わせたルート・時刻だけを抽出したオリジナル時刻表(マイ時刻表)の作成サービスを実施した。75歳以上高齢者の利用料を免除と高齢者運転免許証返納者への支援を継続実施した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	C 目標である1回平均5.6人に対し、4.1人で目標を達成できなかった。 常連利用者が外出を控えたこと、通院利用者が施設入所等により利用を終了したことなどが考えられる。	<ul style="list-style-type: none"> ・路線別時刻表の作成・配布を行う。 ・市の広報紙、ホームページ等で周知を図る。 ・マイ時刻表作成サービスの周知や市営バスの利用方法がわからない方のための利用案内を実施する。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
事業者名:阿賀野市 運行系統名:神山線(904)	神山駅前～中ノ通～阿賀野市役所	路線別時刻表の作成・配布による啓発活動を行った。市のホームページにも時刻表と路線図を掲載し、周知した。自分の利用状況に合わせたルート・時刻だけを抽出したオリジナル時刻表(マイ時刻表)の作成サービスを実施した。75歳以上高齢者の利用料を免除と高齢者運転免許証返納者への支援を継続実施した。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	C 目標である1回平均8.8人に対し、8.2人で目標を達成できなかった。 通院利用者が施設入所等により利用を終了したことなどが考えられる。	<ul style="list-style-type: none"> ・路線別時刻表の作成・配布を行う。 ・市の広報紙、ホームページ等で周知を図る。 ・マイ時刻表作成サービスの周知や市営バスの利用方法がわからない方のための利用案内を実施する。
事業者名:阿賀野市 運行系統名:神山線(901)	阿賀野市役所～中ノ通～笹神支所	路線別時刻表の作成・配布による啓発活動を行った。市のホームページにも時刻表と路線図を掲載し、周知した。自分の利用状況に合わせたルート・時刻だけを抽出したオリジナル時刻表(マイ時刻表)の作成サービスを実施した。75歳以上高齢者の利用料を免除と高齢者運転免許証返納者への支援を継続実施した。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	C 目標である1回平均6.6人に対し、5.7人で目標を達成できなかった。 通院利用者が施設入所等により利用を終了したことなどが考えられる。	<ul style="list-style-type: none"> ・路線別時刻表の作成・配布を行う。 ・市の広報紙、ホームページ等で周知を図る。 ・マイ時刻表作成サービスの周知や市営バスの利用方法がわからない方のための利用案内を実施する。
事業者名:阿賀野市 運行系統名:神山線(907)	阿賀野市役所～熊堂、中ノ通～笹神支所	路線別時刻表の作成・配布による啓発活動を行った。市のホームページにも時刻表と路線図を掲載し、周知した。自分の利用状況に合わせたルート・時刻だけを抽出したオリジナル時刻表(マイ時刻表)の作成サービスを実施した。75歳以上高齢者の利用料を免除と高齢者運転免許証返納者への支援を継続実施した。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	C 目標である1回平均10.9人に対し、8.3人で目標を達成できなかった。 小学生の下校利用において、時間割変更等による利用回数が減少したこと及び新型コロナウイルス感染予防対策による臨時休業の影響が考えられる。	<ul style="list-style-type: none"> ・路線別時刻表の作成・配布を行う。 ・市の広報紙、ホームページ等で周知を図る。 ・マイ時刻表作成サービスの周知や市営バスの利用方法がわからない方のための利用案内を実施する。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
事業者名:阿賀野市 運行系統名:神山線(951)	阿賀野市役所～熊堂、中ノ通、 笹神支所～阿賀野市役所	路線別時刻表の作成・配布による啓発活動を行った。市のホームページにも時刻表と路線図を掲載し、周知した。自分の利用状況に合わせたルート・時刻だけを抽出したオリジナル時刻表(マイ時刻表)の作成サービスを実施した。75歳以上高齢者の利用料を免除と高齢者運転免許証返納者への支援を継続実施した。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	A 目標である1回平均5.4人に対し、6.5人で目標を達成した。常連利用者が買い物等により外出が増えたためと考えられる。	<ul style="list-style-type: none"> ・路線別時刻表の作成・配布を行う。 ・市の広報紙、ホームページ等で周知を図る。 ・マイ時刻表作成サービスの周知や市営バスの利用方法がわからない方のための利用案内を実施する。
事業者名:阿賀野市 運行系統名:安田地域循環線(02AB)	安田支所～宝珠温泉あかまつ 荘～安田支所	路線別時刻表の作成・配布による啓発活動を行った。市のホームページにも時刻表と路線図を掲載し、周知した。自分の利用状況に合わせたルート・時刻だけを抽出したオリジナル時刻表(マイ時刻表)の作成サービスを実施した。75歳以上高齢者の利用料を免除と高齢者運転免許証返納者への支援を継続実施した。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	C 目標である1回平均11.2人に対し、9.6人で目標を達成できなかった。新型コロナウイルス感染予防対策により日帰り温泉施設が臨時休業したことが影響したと考えられる。	<ul style="list-style-type: none"> ・路線別時刻表の作成・配布を行う。 ・市の広報紙、ホームページ等で周知を図る。 ・マイ時刻表作成サービスの周知や市営バスの利用方法がわからない方のための利用案内を実施する。 ・日帰り温泉施設(観光部署)と連携し、誘客とバス利用を図る。
事業者名:阿賀野市 運行系統名:安田地域循環線(04AB)	安田支所～宝珠温泉あかまつ 荘～安田支所	路線別時刻表の作成・配布による啓発活動を行った。市のホームページにも時刻表と路線図を掲載し、周知した。自分の利用状況に合わせたルート・時刻だけを抽出したオリジナル時刻表(マイ時刻表)の作成サービスを実施した。75歳以上高齢者の利用料を免除と高齢者運転免許証返納者への支援を継続実施した。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	A 目標である1回平均5.4人に対し、5.6人で目標を達成した。小学校の下校時刻に合わせたダイヤを確保したこと及び時間割変更等により利用回数が増えたことが考えられる。	<ul style="list-style-type: none"> ・路線別時刻表の作成・配布を行う。 ・市の広報紙、ホームページ等で周知を図る。 ・マイ時刻表作成サービスの周知や市営バスの利用方法がわからない方のための利用案内を実施する。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
事業者名:阿賀野市 運行系統名:安田地域循環線(05AB)	安田公民館～宝珠温泉あかまつ荘～安田支所	路線別時刻表の作成・配布による啓発活動を行った。市のホームページにも時刻表と路線図を掲載し、周知した。自分の利用状況に合わせたルート・時刻だけを抽出したオリジナル時刻表(マイ時刻表)の作成サービスを実施した。75歳以上高齢者の利用料を免除と高齢者運転免許証返納者への支援を継続実施した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	C 目標である1回平均2.0人に対し、1.5人で目標を達成できなかった。新型コロナウイルス感染予防対策により日帰り温泉施設が臨時休業したことが影響したと考えられる。	<ul style="list-style-type: none"> ・路線別時刻表の作成・配布を行う。 ・市の広報紙、ホームページ等で周知を図る。 ・マイ時刻表作成サービスの周知や市営バスの利用方法がわからない方のための利用案内を実施する。 ・日帰り温泉施設(観光部署)と連携し、誘客とバス利用を図る。
事業者名:阿賀野市 運行系統名:安田地域循環線(22B)(03AB)	横町～宝珠温泉あかまつ荘～安田公民館	路線別時刻表の作成・配布による啓発活動を行った。市のホームページにも時刻表と路線図を掲載し、周知した。自分の利用状況に合わせたルート・時刻だけを抽出したオリジナル時刻表(マイ時刻表)の作成サービスを実施した。75歳以上高齢者の利用料を免除と高齢者運転免許証返納者への支援を継続実施した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	C 目標である1回平均7.5人に対し、6.7人で目標を達成できなかった。病院入院患者への見舞利用が外出を控えたこと及び新型コロナウイルス感染予防対策により日帰り温泉施設が臨時休業したことが影響したと考えられる。	<ul style="list-style-type: none"> ・路線別時刻表の作成・配布を行う。 ・市の広報紙、ホームページ等で周知を図る。 ・マイ時刻表作成サービスの周知や市営バスの利用方法がわからない方のための利用案内を実施する。 ・日帰り温泉施設(観光部署)と連携し、誘客とバス利用を図る。
事業者名:阿賀野市 運行系統名:神山線全系統	車両減価償却費等国庫補助金、H27年11月、マイクロバス2台を14人乗りコンピューター2台に更新(リース)	路線別時刻表の作成・配布による啓発活動を行った。市のホームページにも時刻表と路線図を掲載し、周知した。自分の利用状況に合わせたルート・時刻だけを抽出したオリジナル時刻表(マイ時刻表)の作成サービスを実施した。75歳以上高齢者の利用料を免除と高齢者運転免許証返納者への支援を継続実施した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	C 目標である収支率3.1%以上及び5.3以上に対し、0.5%及び1.7%で目標を達成できなかった。75歳以上高齢者の無料化による運賃収入の減少が要因と考えられる。	<ul style="list-style-type: none"> ・時刻表の作成・配布を行う。 ・市の広報紙、ホームページ等で周知を図る。 ・マイ時刻表作成サービスの周知や市営バスの利用方法がわからない方のための利用案内を実施する。 ・運行経費の節減を図る。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和3年1月13日

協議会名:	阿賀野市地域公共交通協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>阿賀野市内における公共交通は、市外へ通じる幹線交通である鉄道、民営路線バスを軸に、水原市街地から放射状に広がる阿賀野市営バスを運行し、公共交通網が市内全域に広がっている。</p> <p>阿賀野市で運行する市営バスは、朝夕は主に学生に利用され、日中は移動の手段を持たない高齢者を中心に、市内で唯一の総合病院であるあがの市民病院への通院や日常の買い物、日帰り入浴施設などに利用され、生活に必要な交通として機能している。また、新潟市・新発田市に通じる鉄道駅、新潟へ通じる民営路線バスの幹線交通に対する支線の役割も果たしている。</p> <p>しかしながら、平成16年度の運行開始から増加を続けていた市営バスも、平成21年度から人口減少と自家用車の普及により、利用者が減少し始め、収支悪化による行政負担の増加をはじめ、運行に様々な問題が発生している。また、鉄道や民営路線バスを利用できない交通空白地もあり、交通手段を持たない住民が日常生活を送る上で不便を強いられている状況にある。</p> <p>そのような状況の中で、阿賀野市においては、平成20年度から地域公共交通活性化・再生総合事業を活用して、阿賀野市地域公共交通総合連携計画を策定し、平成22・23年度に前山線、神山線、安田地域循環線の試験運行を実施、平成23年度から地域公共交通確保維持事業を活用して市営バスの運行を実施している。</p> <p>この市営バスの運行は、交通手段が確保されない地区において、公共交通を確保することができるとともに、地域間交通ネットワークにアクセスしているため、交通不便地区の住民が日常生活を送る上で、重要な運行となっているので、今後も同路線を確保・維持して行く必要がある。</p>